

平成 15 年度

沼津工業高等専門学校動物実験委員会

自己点検・評価報告書

○今年度の主な活動

1) 第1回動物実験委員会

実施日：平成15年5月7日（水）

議題：1. 委員長の選出

委員の互選により■■■■教官が選出された。

2. 委員長による委員長代行の指名

委員長代行は■■■■教官が指名された。

3. 「委員会規則」、「動物実験に関する指針」および活動の内容確認

委員会の目的が、動物実験における適切な指針の策定と運用であることを確認した。昨年度まで、適切に動物実験が行われており、特に問題は生じていないことを確認した。今年度も、委員長が実験実施者から現状報告を受け、特に検討課題がないと委員長が判断した場合には、その実施報告を各委員に回覧して、実施内容についての承認を得ることとする。検討課題が生じた場合には、委員長は必要に応じて委員会（主にネット会議）を開いて討議することとする。

4. 今年度の検討事項

a) 動物飼育設備の充実について

外部環境への配慮と、飼育動物の飼育環境および飼育者の作業環境改善のために、動物飼育設備の充実を推進する必要がある。平成13年度に、動物実験室に予備空調機が設置され、昨年度は既設の空調設備のメンテナンス時等に、この予備空調が活用された。さらに、停電時における予備空調設備運転のためのガソリン発電機の購入について、受益者負担による購入を計画する。

b) 動物飼育と動物実験に関連する法律の検討について

関係法規に関する資料の収集、検討を継続する。

c) 校内の安全衛生管理への協力

独法化後の労働基準監督署等による校内の安全衛生管理状況の検査、およびそれに先立っての（社）日本労働安全衛生コンサルタント会静岡支部による検査の試行等に関し、必要に応じて委員会として協力する。

d) 科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会報告「機関内倫理審査委員会の在り方について」

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室長からの、表記連絡に関して、対応を確認した。表記連絡において、組織内の倫理委員会の充実を求められているのは、疫学およびヒトに関する研究に限られているため、本校における動物実験については、これに該当しないものと判断した。なお、動物実験に関する倫理については、すでに当委員会規則および指針に含まれているため、必要に応じて当委員会が倫理委員会の機能を兼ねることを確認した。

2) 第2回動物実験委員会

実施期間：平成15年3月10日（水）～16日（火）

形式：メール会議

議題：1. 平成14年度動物実験報告書の確認

以下の実験について、実験の安全性、糞尿処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

(1) マウスの繁殖・飼育

期間：平成15年4月1日～平成16年3月31日

対象動物：老化促進モデルマウス（SAMP1 および R1/Yag//Nct）

匹数：常時約50匹

(2) 茶及びキノコの抗IV型アレルギー作用の検定実験

期間：平成15年4月1日～平成16年3月31日

対象動物：ICR系マウス（日本SLCより購入）

匹数：約200匹

(3) 茶の抗酸化作用および抗寒冷ストレス作用の検定実験

期間：平成15年4月1日～平成16年3月31日

対象動物：ddY系マウス（日本SLCより購入）

匹数：150匹

以上の動物実験に関する補足説明

- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作、感染症に関わるものは含まれなかった。
- ・実験に用いた動物は、本校で飼育・繁殖したものか、正規業者（日本SLC社）より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかった。記録簿は、この書類の末尾に添付する。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかった。
- ・動物は、エーテル麻酔下に安楽死させた。
- ・飼料は通常の市販実験動物用飼料（日本SLC社製）、床敷きは通常のチップ（日本SLC社製）、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・糞尿の処理は、床敷きのチップ（おがくず）として沼津市が可燃物として収集した。
- ・動物の死体は、三島函南広域行政組合（みしま聖苑）に焼却処理を依頼した。

2. 平成15年度自己点検報告書の作成

議題：2. 今年度の検討事項への対応

a) 動物飼育設備の充実について

停電時における予備空調設備運転のためのガソリン発電機の購入については、予算の問題で購入できなかった。今後とも、引き続き購入を計画する必要がある。

b) 動物飼育と動物実験に関連する法律の検討について

今後も引き続き、関係法規に関する資料の収集、検討を行う必要がある。

c) 校内の安全衛生管理への協力

安全衛生管理の検査に関し、特に協力要請はなかった。

d) 科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会報告「機関内倫理審査委員会の在り方について」

動物実験に関する倫理については、当委員会規則および指針に含まれているため、必要に応じて当委員会が倫理委員会の機能を兼ねることを確認している。

議題：3. 平成16年度当委員会の委員の推薦

平成16年度当委員会委員について、当人の承諾を確認後、以下のよう
に校長に推薦した。

動物実験に関係する教官（若干名）： [REDACTED]

動物実験に関係しない教官（若干名）： [REDACTED]
[REDACTED]

動物実験に関係する技官（若干名）： [REDACTED]

事務官：庶務課長

議題：4. 平成15年度自己点検報告書(本書類)の作成

以上